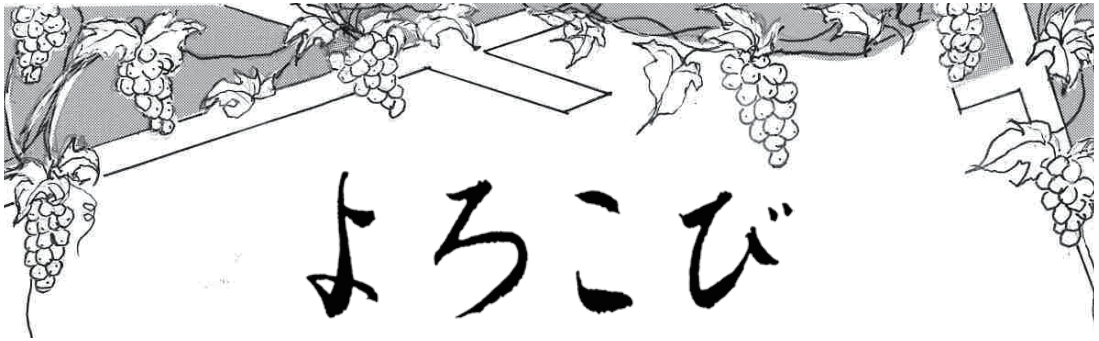




2022.9.20 第134号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信

「かまぼこ」に始まり 「かまぼこ」で 終わった教会生活

北村 宗次

1955年春、関西学院神学部修士を終え、甲子園教会の伝道師に就任した時から私の教会生活は始まりました。甲子園教会の会堂は当時、進駐軍から払い下げさられたコンセットハット（いわゆるかまぼこ兵舎）でした。1年9ヶ月の伝道師の後、宝塚教会、東中野教会、神戸栄光教会に仕えました。神戸栄光教会在任中には阪神淡路大震災に遭遇し、教会堂も牧師館も全壊してしまいました。それから6年余りの間に再建のため教会員の努力と、国内外からの献金により再建費用の見通しもつき、70歳を機に隠退いたしました。46年に互る教会生活を終え2001年3月末退職した時は、神戸

栄光教会はまだ再建ならず、300人が収容できるテント生地の「かまぼこ型」の仮設礼拝堂でした。それでこのような「題」にさせていただきました。

隠退後は神学部時代5年間、教会の籍を移して奉仕し、また家内の母教会でもある関西学院教会に出席して恵まれた教会生活を送っています。初めの数年は無牧の教会の応援



北村 宗次 先生

をしたり、時に説教に招かれ、その後もキリスト教系の病院で月一回の水曜日の職員礼拝の奉仕をしましたが3年前にやめさせていただきました。

教会は戦時中また1970年ごろには学園紛争とそれに伴う教会紛争や震災、自然災

害による困難な時代には牧師はその時その時苦勞が多かったと思います。また今回のコロナにより教会もいろいろ制約を受け、関西学院教会も緊急事態宣言の間は6回の礼拝中断を余儀なくされました。かつては考えられない状態で、讃美歌を歌わず聖餐式も行われない2年半余りの時を過ごしています。高齢の私からは息子、孫の世代の牧師が、この困難な時を乗り越えしつかりと務めを果たしてくださることを日々祈っています。

隠退後は西に六甲連山、遠くに淡路島、近くに母校の見える住まいで家内と二人ゆっくりと生活しています。ただコロナ感染の広がりの中で、訪問客もなくほとんど外出もしない日々です。今私のできる奉仕として教会の掲示板に次週の予告の説教題と聖句を筆で書いております。92歳になり教会の男性では最高齢になってしまいました。耳が少し遠くなり、心身の老化

は否めませんが、毎日朝夕のシヨートウオークを欠かさず健康維持に努めています。電車で一駅、バスでワンストップで教会前に着くと、まっすぐ西に関西学院の正門と時計台が見えます。週に一度の嬉しいひと時です。

いつも隠退教師のために労してくださる年金局の方々に感謝しております。

(きたむら そうじ)

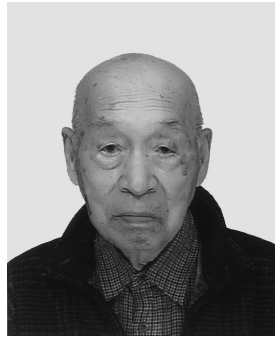
「主に導かれて」

志垣 暹

大東亜戦争・戦後の混乱期、父は私が小学校6年の時に召されて既に亡く、それだけに母親の負担は大きなものだった。韓国の公立中学校から、福岡市のミッシヨン・スクールに籍を移すのに力になってくれたし、東京での夜間神学

校で学びを続けるにも力を尽くして下さったのだった。

神学校は1960年3月に卒業。直ちに長野県・浅間山麓の「岩村田伝道所」に派遣された。信越線・小諸で小海線に乗り継ぎ、岩村田駅で下車。夕闇迫る岩村田の街並みは、何ともわびしい農村地帯。しかし二、三人の婦人が何く



志垣 暹 先生

れとなく、若輩に力を尽くしてくれたのだった。

忘れもしない。「受難週祈禱会」信州3月の早朝は、厳冬に近いと言っても過言ではない。それなのに、婦人の方々は、早起きをされ、駆け集まって下さり、大きな樹の下で、輪になって祈りを寄せること一週間。そのようにして若輩

を育て上げる影の力となったのだった。

1979年、長年の夢であつた教会堂、保育園の新築を決議。80年落成感謝。「教会の外観は、その色調が何とも柔和で嬉しい。その塔は、十字架を仰ぐことによつてユニティーが形成されてい

る」(総工費35、883、000円)

岩村田教会で34年間、聖なるご用に当たらせて頂き、宮城県・角田教会では4年間務めさせて頂き、隠退させて頂いた。

(しがき あきら)

就任のご挨拶

推進委員会事務局長

山田 昌人

初めまして。この4月に「隠退教師を支える運動」推進委員会事務局長の任を仰せつかりました山田昌人と申し上げます。どうぞよろしく願います。

昨年12月に鈴木秀信事務局長(現委員長)からお誘いの電話を受け、2022年1月28日に開催された第41総会期

第7回推進委員会を経て、1月に推進委員に、そして4月1日付けで鈴木秀信さんが委員長に就かれたのを受けて、後任の事務局長に就任しました。

鈴木秀信さんとは、会社員時代に受講した東京神学大学夜間神学講座の同窓会(まるとす会)で一緒に過ごしていた

だいたのですが、少し自己紹介をさせていただきます。

定年を過ぎ、38年余り勤務したコンピュータ関連の会社を退職して、東京神学大学の事務室に勤めることになりました。所属教会の牧師から職員募集のお話があった時、「今まで自ら伝道者として献身するという決断が出来ずにいたが、伝道者養成の働きに係わることが出来る」と、このお勧めを神の導きと受け止めたからでした。

東京神学大学を退職した後暫くして、今度は東京教区事務所の主事補のお話があり、昨秋まで4年6か月間勤めました。(東京教区事務所では、教区としての業務に加えて、教師や教会事務員などの社会保険の手続きや教区墓所の管理・運営に携わりました。)そして、この4月からは「隠退教師を支える運動」推進委員会事務局に身を置くことになりました。

思えば、東京神学大学では

「将来の伝道者(教師)」の養成に係り、東京教区事務所では「現役の教師」のお手伝いをし、今度は「隠退された教師」のために働かせていただくことになりました。

とは言え、「隠退教師を支える運動」については、詳しいことは何も知らずにおりました。送っていただいた『夕べになつても光がある』「隠



山田 昌人 事務局長

退教師を支える運動」三十年の歩み」を読ませていただきました。そこには、この運動の源流と歴史が記されており、信徒である諸先輩方の隠退教師とこの運動に対する篤き想いがあることを知りました。

隠退教師の中には、若い頃

お世話になった先生や存じ上げていらっしゃる先生が沢山いらっしゃると思います。この運動を通してこの先生方との関わりを持ち続けることが出来ることも嬉しいことです。

諸先輩方の想いに導かれて、隠退教師の皆様のために、更には、現役教師の皆様が後顧の憂いなく宣教の業に専念出来ますように、微力ではありますが、主に託された務めに励もうと思っています。

(やまだ まさと/聖ヶ丘教会)

前号の「よろこび」に福島義人先生がこの運動の想いをお書き下さいました。生涯を主に捧げた隠退教師への感謝は、今に至るまで受け継がれております。コロナ禍、高齢化の中ではありますが、多くの方がこの運動のために起され、現役教師の方々をも視野に入れた教団伝道体制のために、仕えて参りたいと願っております。(S)



業 務 室 よ り

一年金を受けている方へ 年金給付のお知らせ

10月の定例給付のご案内をします。

送金内容 2022年度第2期分給付
(2022年7・8・9月分)

送金日 2022年10月7日(金)
期日に、ご指定の金融機関に入金されて
いない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2022年12月9日(金)

連絡先・年金振込先の変更は、できる
限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れ
かで、年金局までお知らせください。

☆ 2022年度「受給者名簿」を同封いたし
ます。正確を期したつもりですが、誤り
がありましたらお知らせください。この
名簿は受給者の交わりに役立つように作
成しているものです。それ以外の目的に
はご利用なさいませんよう、扱いにはく
れぐれもご注意ください。破棄される際
にシュレッダー等の処理が難しい方は年
金局にお送りください。

住所欄の□は、2021年度の現況届で住所
等の記載を望まない意思表示された方
です。今年度4月以降に受給者となられ
た方は、原則、そのまま記載させてい
たきました。

名簿の送付が不要と申し出られた方には
同封しておりませんので、お入り用の際
にはご連絡ください。

☆ 7月8日の定例給付日には、退職年金1
億939万円を718名の受給者にお送りい
たしました。

☆ 6月23日～24日に開催の第41総会期
第8回年金局理事会は、早稲田の会館で

の対面とオンライン、書面の併用開催と
なり、17名の理事によって、2021年度
の事業報告及び決算、謝恩日献金目標額
1億1千万円を含む2023年度の財務計画
案が承認されました。18名の理事・監事
と8名の陪席者が画面上と対面で久しぶ
りに会し、情報交換や状況共有ができた
ことは感謝でした。複数の教区で代表理
事の交代がありましたが、7月の常議員
会で承認を受けました。次号では第42総
会期のメンバーを改めてご紹介できるこ
とと思います。

☆ 本号では、92歳となられた志垣暹先生北
村宗次先生にこれまでの歩みと近況を書
いていただきました。お二人の先生を始
めとする受給者のみなさま方がお元気
でお過ごしのご様子を伺うことは、私共
にとっても大きな喜びであり、励みとな
ります。

☆ 4年前に天に召された内藤留幸先生と3
月に召された美智子さまのお子様方が
ご両親のご遺志を表されて教師年金制度
のためと、多くの宝を献げてくださいま
した。感謝をもってご報告させていただきます。

☆ 終息の兆しのあったコロナ感染が、7月
半ばから第7波の到来となり、未だ猛威
は治まりません。4年ぶりに予定されて
いる9月の教団総会の開催も危ぶまれて
います。

次々に各地を襲う自然災害の被害を受け
た方々にお見舞い申し上げると共に、み
なさまの上に主の平安がありますよう、
ご健康が支えられますよう、心からお祈
りいたしております。(村山めぐみ)

日 本 基 督 教 団 年 金 局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18

Tel: 03(3202)2080 / Fax: 03(3202)2081
mail:nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18

Tel: 03(3232)8005 / Fax: 03(3202)2081
mail:sasae100@uccj.org